

2019.2 平成30年度第2四半期報

モニつうとは、"モニタリング+通信"のこと。 環境放射線等の調査結果をお知らせし、自分 たちの住むまちの環境を考える人が一人でも 多くなることをめざす、青森県の広報誌です。



原子力環境だより モニタリングつうしんあおもり



p.1 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果

p.5 東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング結果

p.7 リサイクル燃料備蓄センターに係る環境放射線モニタリング結果

p.8 環境放射線等モニタリングのしくみ

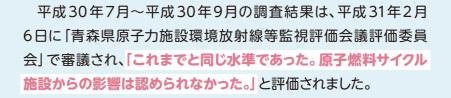
p.9 東通原子力発電所温排水影響調査結果

p.10 県からのお知らせ

青森県原子力センター 分析課 課長 木村芳伸 さん

# 原子燃料サイクル施設に係る 環境放射線等モニタリング結果

平成30年度第2四半期(平成30年7月~平成30年9月)の調査結果







人間が体外から受ける空間放射線には、 宇宙から降りそそいでくるもの (宇宙線) や、 大地などからのものがあります。宇宙線の 量は、緯度によって差がありますが、同じ場 所であればほとんど変わりありません。ま た、大地などからの放射線の量は、地質の違 いなど場所によって差があります。

空間放射線は、同じ場所であっても、気象 条件などによって変動し、特に、雨や雪が降 ると一時的に高くなります。また、雪が積 もっている冬の間は、大地からの放射線がさ えぎられるため、平均的に低くなります。

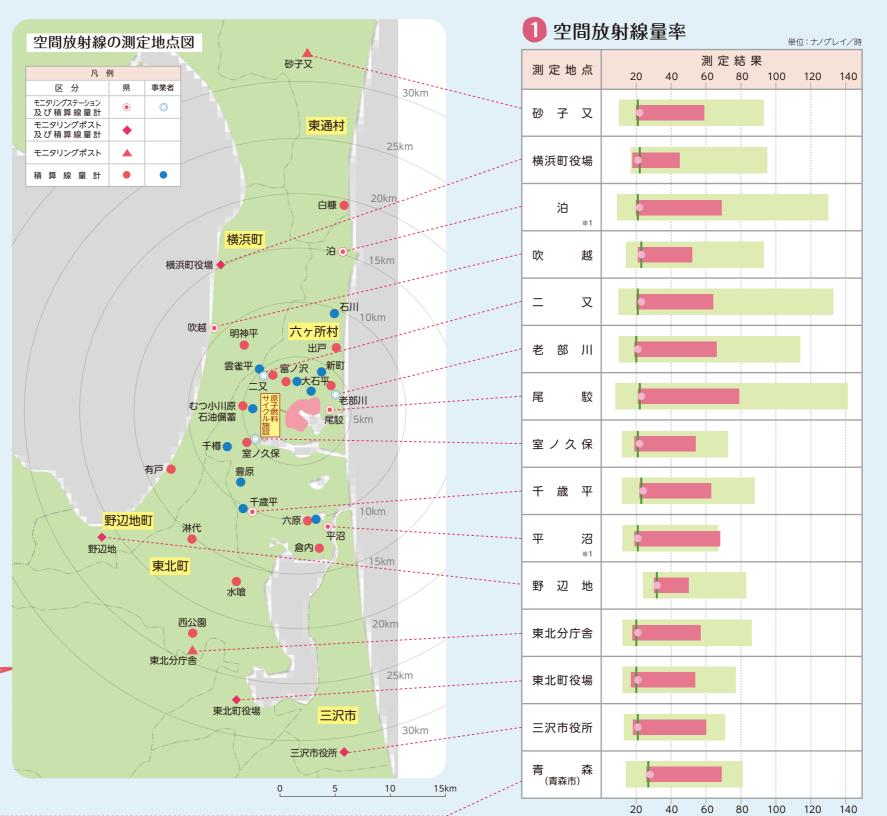
# 空間放射線量率

1時間当たりの空間放射線量を表します。 この調査で使用している測定器は、エネルギーの高い宇宙線を除くようにしている ため、グラフに示している空間放射線量率は、 主に大地などからの自然の放射線による ものです。

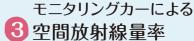
## 積算線量

RPLD (蛍光ガラス線量計) をモニタリングポイントに設置し、3か月間の空間放射線の積算量を測定しています。

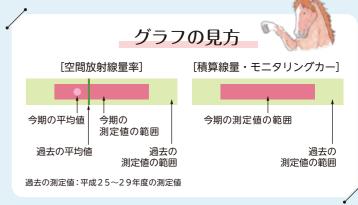












※1.平成26年度に測定局舎等を移設したため、平成27~29年度の測定値を過去の測定値として記載しています。







# 原子燃料サイクル施設に係る 環境放射線等モニタリング結果

平成30年度第2四半期(平成30年7月~平成30年9月)の調査結果



## 環境試料中の放射能

### グラフの見方

①大気浮遊じん(全アルファ放射能/全ベータ放射能)の場合

今期の測定値の範囲

平成25~29年度の測定値の範囲

検出限界※1以下の測定値は0として表示しています。

※1. 検出限界: 大気浮遊じん中の全アルファ及び全ベータ放射能については、測定条件 (採取空気量等)が変動するため、計数誤差の3倍を検出限界として設定しています。

②その他の場合

平成20~29年度の測定値の範囲※2

定量下限値 一 今期の測定値の範囲

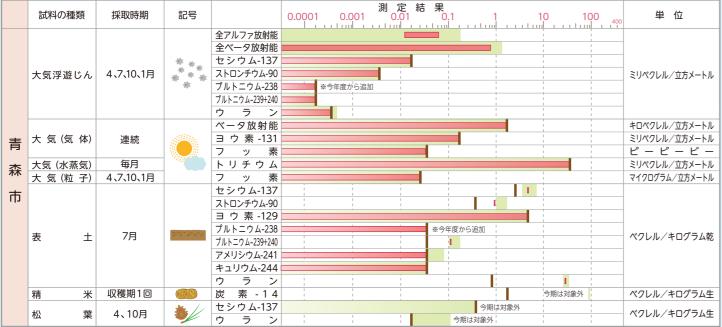
定量下限値\*3未満の測定値が含まれる場合、定量下限値未満の範囲をグラデーションで表示しています。

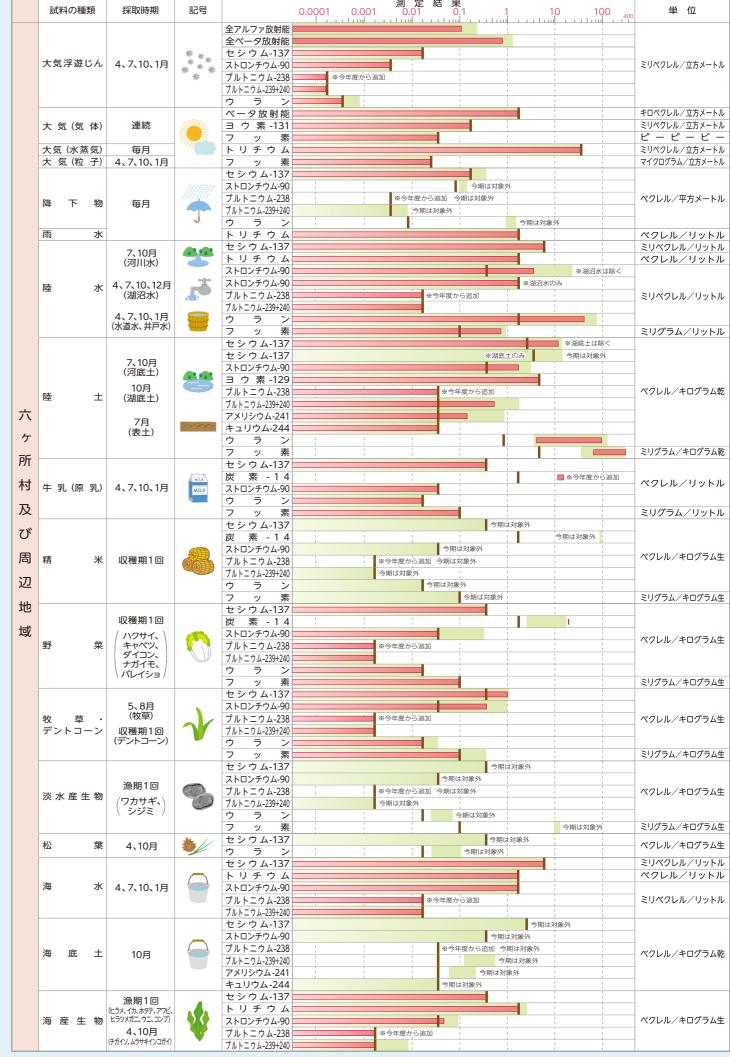
- ※2. 気体状ベータ放射能については、平成25~29年度の測定値の範囲。また平成23年 3月に発生した東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所の事故の影響 と考えられる測定値は、過去の測定値の範囲には含まれていません。
- ※3. 定量下限値:測定条件や精度を一定の水準に保つため、試料・測定項目ごとに定めているものです。

# ベクレル(Bq):放射能

放射能は放射線を出す能力のことで、放射能を持つ物質を放射性物質といいます。放射能の強さは1秒間に壊変する原子核の数で表され、ベクレルという単位を用います。私たちの体にも放射性物質が含まれており、例えば、体重60kgの人の体には、炭素-14が約3000ベクレル存在します。







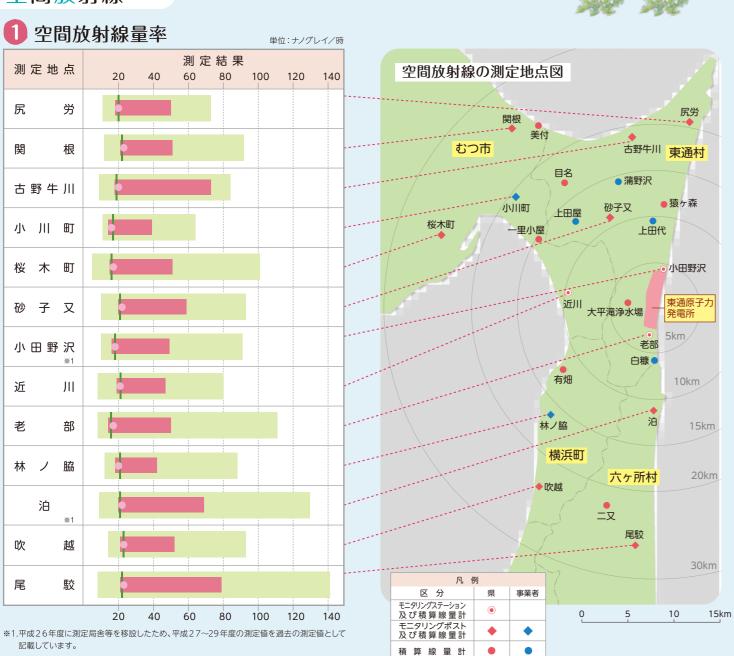
3 | モニフラ No.111 | 4



# 東通原子力発電所に係る 環境放射線モニタリング結果

平成30年度第2四半期(平成30年7月~平成30年9月)の調査結果

# 空間放射線



モニタリングカーによる

3 空間放射線量率

測定地点

東通村及び

周辺地域9地点 走 行 測 定

/東通村及び

周辺地域4ルート

# 2 積算線量



グラフの見方は、空間放射線はp.2、環境試料中の放射能はp.3をご覧ください。

平成30年7月~平成30年9月の調査結果は、平成31年2月6日に「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。」と評価されました。



むつ市

環境試料の採取地点図

# 環境試料中の放射能

野牛

放水口付近

砂子又

**F1** 

東通村

	試	料の種	類	採取時期	記号		0.0001	0.001	0.01	結果 0.1	1	10			単位	
	<b>*</b>	<b>瓦浮遊</b>	15.6.	連続	* * *	全ベータ放射能									ベクレル/立方メートル	
					市 市	セシウム -137				- 1		<u> </u>	•		ミリベクレル/立方メートル	
	大	気(気	体)	連続	00	ョゥ素-131									ミリベクレル/立方メートル	
	降			毎月		セシウム -137					l I	1				
		: 下	物		7	ストロンチウム-90		今期は対象外			ベクレル/平方メートル					
東						プルトニウム-239+240			今期は対象	象外						
	陸	水	ъĸ	4、10月(河川水) 4、7、10、1月(水道水) 7、1月(井戸水)	aa 🌊 😑	セシウム -137									ミリベクレル/リットル	
通					The second	トリチウム						<u> </u>			ベクレル/リットル	
<i>-</i>	表	土	7月	preference.	セシウム -137								ベクレル/キログラム乾			
村					プルトニウム-239+240									マンシル/ コロノブム報		
1,2	精		米	収穫期1回		セシウム -137				_	今期は対	<b>象外</b> ¦			ベクレル/キログラム生	
及	TH			以传州IU		ストロンチウム-90				今期は対象	象外				・ ハノレル/ イロノ ノム王	
/X				収穫期1回 パレイショ、ダイコン、 ハクサイ、キャベツ、 アブラナ	0	セシウム -137									ベクレル/キログラム生	
7,5	野		菜			ョゥ素-131					今期は対	象外				
						ストロンチウム-90						i				
周			4、7、10、1月	MILK	セシウム -137						- !					
ᄓ	牛乳(原乳)				乳)	ョゥ素-131					ベクレル/リットル					
תי						ストロンチウム-90						- !				
辺	4	肉	肉	1月	<b>*</b>	セシウム -137					今期は対象	外			ベクレル/キログラム生	
1th						ストロンチウム-90				今期は対象	家外	i			17070/ 1077AI	
地	牧		草	収穫期2回	<b>→</b>	セシウム -137						-			ベクレル/キログラム生	
4-1						ョゥ素-131					今期は対象	外			・ハフレル/ イロブプム生	
域	松	<u>\</u>		5、11月	*//	セシウム -137					今期は対象					
			葉			ョゥ素-131	今期は対象外   今期は対象外   今期は対象外			ベクレル/キログラム生						
						ストロンチウム-90										
	海		ъĸ	4、7、10、1月		セシウム -137									ミリベクレル/リットル	
			-31			トリチウム						-			ベクレル/リットル	
	海	底	±	7月		セシウム -137									ベクレル/キログラム乾	
		1=4				プルトニウム-239+240	i	<u> </u>	i			į				
			生物	漁期1回 ヒラメ、カレイ、 ウスメバル、コウナゴ、 アイナメ、ホタテ、アワビ、 コンブ、タコ、ウニ 4.10日(チボイン)	*	セシウム -137									ベクレル/キログラム生	
	海	産 生				ョゥ素-131										
	,-3	<i></i>	. 123			ストロンチウム-90										
				4、10月(チガイソ) ス1月(ムラサキイガイ)	<u> </u>	プルトニウム-239+240					1	-				
むつ	表		±	7月	Entended a	セシウム -137						1			   ベクレル/キログラム乾	
むつ市川内町						プルトニウム-239+240		i		1 1					.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
闪	松		葉	5、11月	*//	セシウム -137					今期は対象				ベクレル/キログラム生	
ΘĴ		*	3,117		ストロンチウム-90		I I				今期は対象外			170707-10774		

単位:ナノグレイ/時

80 100 120 140

測定結果

60



# リサイクル燃料備蓄センターに係る 環境放射線モニタリング結果

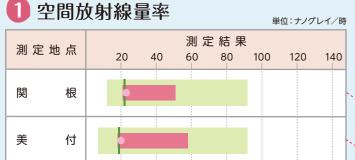


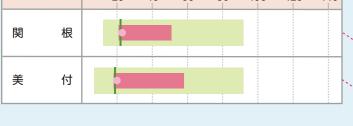
平成30年度第2四半期(平成30年7月~平成30年9月)の調査結果

現在、リサイクル燃料貯蔵株式会社により、むつ市において「リサイクル燃料備蓄センター」の建設工事が行われて います。県及びリサイクル燃料貯蔵株式会社では、平成20年度から同センターにかかる環境放射線の事前調査を実 施しています。平成30年7月~平成30年9月の調査結果は、平成31年2月6日に「青森県原子力施設環境放射線 等監視評価会議評価委員会」で審議され、「これまでと同じ水準であった。」と評価されました。

## 空間放射線

環境試料中の放射能





### 2 積算線量 単位:マイクログレイ/91日 測定結果 測定地点 70 80 90 100 110 120 130 むつ市及び 周辺地域7地点



# 3 環境試料中の放射能

むつ市川内町

地

	試料の種類	採取時期	記号		0.0001 0.001	測 定 結 果 0.01 0.1	1 10	100 400	単位
東通村の市及び	表 土	7月	Betatish strai	セシウム -137					ベクレル/キログラム乾
対 説	松葉	5、11月	*//	セシウム -137			今期は対象外		ベクレル/キログラム生
川む内で	表 土	7月	Granish share	セシウム -137			1		ベクレル/キログラム乾
町市	松葉	5、11月	*//	セシウム -137			今期は対象外		ベクレル/キログラム生

グラフの見方は、空間放射線はp.2、環境試料中の放射能はp.3をご覧ください。

### グレイ(Gy): 吸収線量

いろいろな物質に放射線があたるとき、吸収される放射線量を 数値に表したものです。

1Gy

● 1,000mGy (ミリグレイ)

= 100万μGy (マイクログレイ)

■10億nGy(ナノグレイ)

### シーベルト(Sv): 実効線量

放射線や放射能の身体への影響を数値に表したものです。私たちは、 自然界からも年間平均 2.4mSv(ミリシーベルト) の放射線量を浴びて います。その他、人工的に浴びる放射線量の一年間の限度は1mSvと されています。

- ■1,000mSv (ミリシーベルト)
- ●100万μSv (マイクロシーベルト)
- ■10億nSv(ナノシーベルト)

## 環境放射線等





県では、皆さんの健康と安全を守るため、施設から環境への影響をチェックしています。

### 1. 監視測定

### 原子力センター

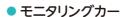
県では、こちらの施設で県内の原子力 関連施設から環境に影響があるかど うか常時チェックしています。



### 空間放射線の測定

原子力施設周辺の空間放射線量率を測定し、公表しています。

モニタリングステーション





モニタリングポスト





### リアルタイムデータの表示

- 青森県庁、原子力センター
- 東通村役場、むつ市役所、横浜町役場、三沢市役所
- 六ヶ所村泊地区ふれあいセンター
- 六ヶ所村文化交流プラザ (スワニー)
- 野辺地町観光物産 PR センター
- 東北町コミュニティセンター



## 環境試料中の放射能の測定

水、土、農畜産物、海産物などの環境 試料中の放射能を測定します。













### 2. データの評価・確認

### 青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議

- 学識経験者
- 立地市村・周辺市町村の長
- 関係団体の長知事以下県職員など





### 3. データの公表



広報誌「モニタリングつうしんあおもり」



ラジオ・新聞広告



http://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/genshiryoku.html

7 | #=>> No.111

# 東通原子力発電所 温排水影響調查結果

平成30年度第2四半期(平成30年7月~平成30年9月)の調査結果

青森県と東北電力株式会社は、東通原子力発電所の温排水が、施設前面海域及び周辺海域に与える影響を 把握するため、調査を継続しています。ただし、現在は稼働していないため、温排水は排出されていません。

### 水温・塩分

24地点において、水温、塩分を測定した結果、表層の水温 は19.9~20.9℃、塩分は32.6~33.5の範囲でした。

2調査地点において、流向、流速を測定した結果、流向は 汀線にほぼ平行な流れで、北〜北北東及び南に向かう流れが 卓越しており、流速は40cm/sまでが大部分を占めていま した。

### 海藻草類・底牛牛物

4地点において、分布状況を調査した結果、サビ亜科等55 種の海藻草類とキタムラサキウ二等8種の底生生物(平均個 体数5個体/㎡)が確認されました。

# 卵・稚仔、プランクトン ••●

6調査地点において魚類の卵、稚仔の出現状況を調査した 結果、魚種までの同定が不明な卵等11種の卵の出現が確認 されました。また、カタクチイワシ等8種類の稚仔の分布が確 認されました。

6調査地点において動物プランクトン及び植物プランクト ンの出現状況を調査<del>した結果、主として</del>節足動物プランクト ン及びハプト植物プランクトンの分布が確認されました。

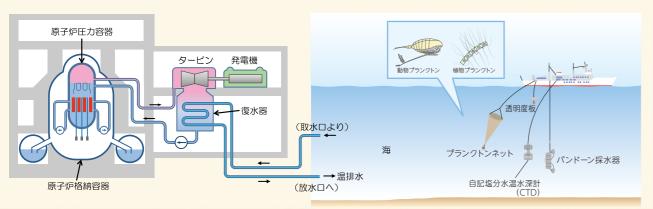
8調査地点における測定結果は表のとおりでした。

測知	定項目	単 位	測定結果			
水素イオン	ン濃度(pH)	_	8.1			
化学的酸素 要求量	酸性法	mg/l	1.0~1.6			
安水里 (COD)	アルカリ性法	mg/l	0.3~0.8			
溶存酸素	量(DO)	mg/l	7.6~8.0			
透明度		m	9.5~14.0			
浮遊物質	量(SS)	mg/l	1~2			
全窒素 (T	-N)	mg/l	0.08~0.20			
全リン (T	-P)	mg/l	0.023~0.035			

3調査地点における測定結果は表のとおりでした。

測定項目	単 位	測定結果
化学的酸素要求量 (COD)	mg/g 乾泥	$0.4 \sim 1.3$
強熱減量(IL)	%	1.1 ~ 3.4
全硫化物(T-S)	mg/g 乾泥	定量下限値未満

### 東通原子力発電所の温排水が施設前面海域及び周辺海域に与える影響調査イメージ図



青森具農林水産部水産局水産振興課

〒039-3381 東津軽郡平内町大字茂浦字月泊 10

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研

TEL: 017-722-1111(代)(内 4659) 直通:017-734-9592

〒030-8570 青森市長島 1-1-1

TEL:017-755-2155







### ■ ~青森県における環境放射線モニタリングの歴史~ ■

平成元年4月に原子燃料サイクル施設に係る環境放射線モニタリングを開始して以来、本県における 環境放射線モニタリングも30年もの年月を積み重ねてきました。

平成も最後となるこの節目に原子力センター所長を務めるなど本県の環境放射線モニタリング業務に 永年携わってきた現青森県危機管理局木村秀樹参事に、これまでの環境放射線モニタリング業務を 振り返り、お話をいただきました。

### 環境放射線調査の始まり

我が国における環境放射線の調査は、1954年ビキニ環礁におけるアメリカ軍の水爆実験によるマグロ漁船第五福 竜丸被災が端緒になったと言われています<sup>1)</sup>。その後、アメリカや旧ソ連などの大気圏内核実験により、日本列島に 多くの放射性降下物がもたらされるようになり、当時の厚生省や科学技術庁が中心となって、各省庁や大学、地方公 共団体などにより放射能調査が実施されました。本県においては、降下物(雨水、ちり)や米などの調査結果が「日本 の環境放射能と放射線|2)の「環境放射線データベース」に1963年分から掲載されており、この年から調査が始 まったと考えられます。この調査は、国の委託による「環境放射能水準調査」として現在も続いており、県内全域を 対象として、空間放射線量率の連続測定や降下物、土、米、野菜、魚などの放射性物質濃度の測定を行っています。



### 環境放射線モニタリングの本格始動

本県が本格的に原子力施設周辺の環境放射線モニタリング(以下、「モニタリング」という。)に取り組んだのは、 1985年に県と六ヶ所村が原子燃料サイクル施設の立地協力要請を受け入れたことが契機となっています。同施設 から放出される放射性核種は、原子力発電所と異なるものも含まれており、平常時における放出量も比較的多くな ると評価されていたことなどから、県は専門家による委員会の助言を得ながら、モニタリング計画や実施要領の検 討を行いました。また、それと並行して測定器等の整備や現地における予備的な調査、職員の技術研修等を行って きました。そして、1989年度から県と事業者により原子燃料サイクル施設に係るモニタリングが開始されました。 その後、2003年度から東北電力(株)東通原子力発電所、2008年度からリサイクル燃料備蓄センター(RFS)に係 るモニタリングも併せて実施し現在に至っています。この間、新しい分析技術の確立による対象核種の追加、原子 力施設の事故等を踏まえた指針等の見直しによる測定項目の追加や調査範囲の拡大などに対応し、モニタリング の充実強化が図られています。

県のモニタリング体制としては、当初は衛生研究所・公害調査事務所で実施していましたが、1990年度、青森市 に環境保健センターが設立され、その中の放射能部は本県初のモニタリング専門機関となりました。その後、 2003年度に六ヶ所村に原子力センターが設立されてモニタリングの新たな本拠地となり、環境保健センター放射 能部は原子力センター青森市駐在に組織替えして、環境放射能水準調査や調査研究を実施しています。







### 環境放射線モニタリングの意義

国のモニタリングに関する指針は、1978年に原子力委員会が策定して以来、旧ソ連のチェルノブイリ原子力発電所 事故や茨城県東海村のJCO臨界事故などを契機に見直され、モニタリングの目的も少しずつ変化してきましたが<sup>3)</sup>、 住民等の被ばく線量の推定及び評価という目的は、一貫して掲げられています。このように、モニタリングは常に住 民の側にあり、安全の確保及び安心感の醸成のために大切な役割を担っています。また、モニタリングは「実測値」と いう信頼性の高い情報を提供する活動であり、福島第一原子力発電所事故後に制定された原子力災害対策指針によ り、その意義がさらに高まっています。今後とも、モニタリングにはどのような状況下でも必要なときに必要なデータ を取得し、その評価結果をわかりやすく提供する責務があることを胸に刻み、モニタリングのさらなる充実強化やそ れを担うことができる職員の育成に取り組むことが重要であると考えています。

http://www.kankyo-hoshano.go.jp/kl\_db/servlet/com\_s\_index 3)吉岡藩夫: 環境放射線モニタリングの今昔-第1回 環境モニタリングの対象と歴史、概観-. FB News. No.338. p1-6 (2005)



<sup>1)</sup> 横田陽子: 戦後日本における環境放射能調査の経緯とその実像, 学術の動向, 2014年3月号, p60-63,

<sup>2)</sup>日本の環境放射能と放射線:原子力規制庁の委託により(公財)日本分析センターが運営・管理するWebサイト



# からのお知らせ 🚅 🤇

## 青森県原子力防災訓練を おこないました。

### 平成30年11月10日(土)、11日(日)

東北電力(株)東通原子力発電所から30km圏内 にお住まいの皆さんを対象にした空路や海路での避 難訓練のほか、社会福祉施設、東通オフサイトセン ター、県庁など県内各地で、原子力災害時における対 応を確認しました。

### 目的.

- ■国、県、市町村、原子力事業者における 体制及び関係機関等の協力体制の確立
- 各市町村避難計画の具体化及び検証
- あいいまでは、
  ・防災業務関係者の防災技術の習熟
- 地域住民の防災意識の高揚や原子力防災 対策に関する理解促進

### 東通村からの空路・海路避難訓練





### 住民防護措置訓練



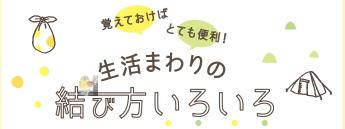


### 避難退域時検査・簡易除染訓練





# エコの夢らしの二工夫面



ひもを結ぶとき、たて結びになったり、すぐにほどけてし まったりした経験はありませんか? うまく結ぶことができ ないとき、テープなどで代用してはいませんか?

「結び」の歴史は古く原始時代にさかのぼり、その種類は 4千種類もあるのだそうです。さまざまな道具が発達して も、新聞や雑誌を束ねたり、スニーカーのひもを結んだり、 「結び」は生活に密着した技術として生きています。何種類 かの正しい結び方を身につけておけば、暮らしの中でいろ いろと役に立ちますね。簡単にできる便利な結び方をご紹 介します。

しっかり結べて、簡単にほどける ひもやスカーフを結んだり、荷造りや風呂敷で包んだり するときの基本的な結び方







A、Bを交差させ、BにAを 1回からませる。

AをBのひものうえに置き、 AをBに1回からませる。

<point>

①で交差させた際、上になったひもと同じひもが上にくるようにする。逆になると「たて 結び」になる。

A、Bそれぞれ反対方向に引 き、結び目を締める。





すばやく結べて強度が高く「キング・オブ・ノット」と呼ばれる 新な方。テントを張るとは、エンノー・アンノー・アントは、 新な方。テントを張るとなど、輪を作って杭状のものに引っ掛けるのが基本の使い方ですが、頑丈な輪ができるので木と木の間にロープを渡したり、荷物を吊り下げたり、パケツで水をくん だり、自分の体の安全を確保するときなど、応用がききます。







A のロープの途中に 輪をつくり、B を下か らくぐらせる。

B の端を A のロープ の輪の中に戻す。

輪の大きさを調整し ながら A と B を引き

### モニタリングに関するお問合せはこちら

### 曲 青森県危機管理局原子力安全対策課

〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL: 017-734-9252 · 017-734-9253

### 曲 青森県原子力センター青森市駐在

〒030-8566 青森市東造道1-1-1 (青森県環境保健センター内) TEL: 017-736-5417 (代)

編集·発行 青森県危機管理局原子力安全対策課

発行年月日 平成31年2月19日

### 曲 青森県原子力センター

〒039-3215 六ヶ所村大字倉内字笹崎400-1 TEL: 0175-74-2251 (代)

## 曲 青森県原子力センター東通村駐在

〒039-4292 東通村大字砂子又字沢内5-34 (東通村役場内) TEL: 0175-27-2111 (代) (内線 281)





このパンフレットは、広報・調査等交付金により作成したものです。この印刷物は65,800部作成し、経費(制作・印刷・配布)は、一部あたり32円です。